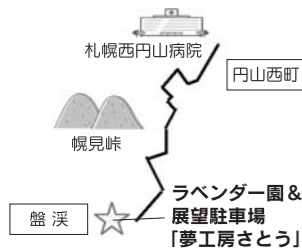


円山周辺にある人・物・場所・文化を紹介する「まるやまさんぽ」。第6回目は札幌西円山病院のすぐそばにあります幌見峠の頂上で展望駐車場とラベンダー園を運営されております「夢工房さとう」をご紹介します。

幌見峠は円山西町から盤渓へ抜ける場所にありまして、隠れた札幌の夜景スポットとして有名です。展望駐車場は車の中から夜景を楽しむことができるので、夜の肌寒い時でもゆっくり夜景を楽しむことができます。ラベンダー園では約5000株のラベンダーが栽培されております。今年は7月20～25日頃が見頃のピークなのでとのお話でした。一面に広がる紫色のじゅうたんは都会にいることを忘れさせてくれる癒しの空間です。

またラベンダー畑の向こうに見える札幌の街並みもここでしか体験できないことでしょう。ラベンダーの刈り取りも行っているの持ち帰ることができ、エッセンシャルオイルや石鹸などの販売も行っております。

昼と夜で違う景色を楽しむことができる幌見峠。当院へお立ち寄りの際にぜひ足をお運びください!!



「夢工房さとう」 住所：札幌市中央区盤珪471番地110(幌見峠頂上)
TEL：011-622-5167
HP：http://yumekoubousatou.com/

「展望駐車場」
営業期間／4月1日～11月30日
営業時間／昼の部10:00～17:00(退場は18:00)
夜の部18:30～1:30(閉門は2:00)
駐車料金／昼の部：300円(ラベンダー園開園中は500円)
夜の部：500円

「ラベンダー園」
開園期間／7月中旬～8月上旬
(詳しくはHPもしくはお問い合わせください)
開園時間／9:00～17:00(車の退場は18:00まで)
入園料金／車：500円(駐車場料金込み)

ロビーコンサート
5月 青空いっぱい
コンサート

踊り：なごみの会

5月31日(日)に青空いっぱいコンサートと題して、なごみの会の皆様にお越しいただきました。当日は日本舞踊・社交ダンス・民謡・フラダンスと様々なジャンルの踊りや歌を披露していただきました。患者様からは「一度に沢山の踊りを観ることができ、貴重な時間だった」とご感想をいただき、とても楽しいひと時となりました。次回のロビーコンサートも楽しみにしててください!



編集後記
2015

日差しの暖かい日と、肌寒く感じる日と、日によって温度差が大きく感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか? 季節の変わり目のこの時期、何を着て出勤しようか毎日迷ってしまいます。夏が好きなのでカラッとされた夏になるのが待ち遠しいです!
これからの季節、暑さも増してきますので、体調管理には気を付けましょう!!

すべての
お問い合わせは

郵便 〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
札幌西円山病院 地域連携推進室内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

[医療法人湊仁会 札幌西円山病院 広報誌]

にしまるやま通信

発行日 2015.6.30

No.93



季節の写真リレー 撮影者/N.K

- 地域包括ケアシステム Vol.2
- さくらまつり・端午の節句
- 患者家族交流会
- ボランティアグループ銀の舟 総会
- まるやま SUN-PO!⑥
- ロビーコンサート
- 編集後記

* * 札幌西円山病院のご案内 * *

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 821床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

地域包括ケアシステム Vol.2

何故、今仕組みを変えなければならないの？ (人口動態の変化・日本の未来)

札幌西円山病院 MSW 大植 友樹

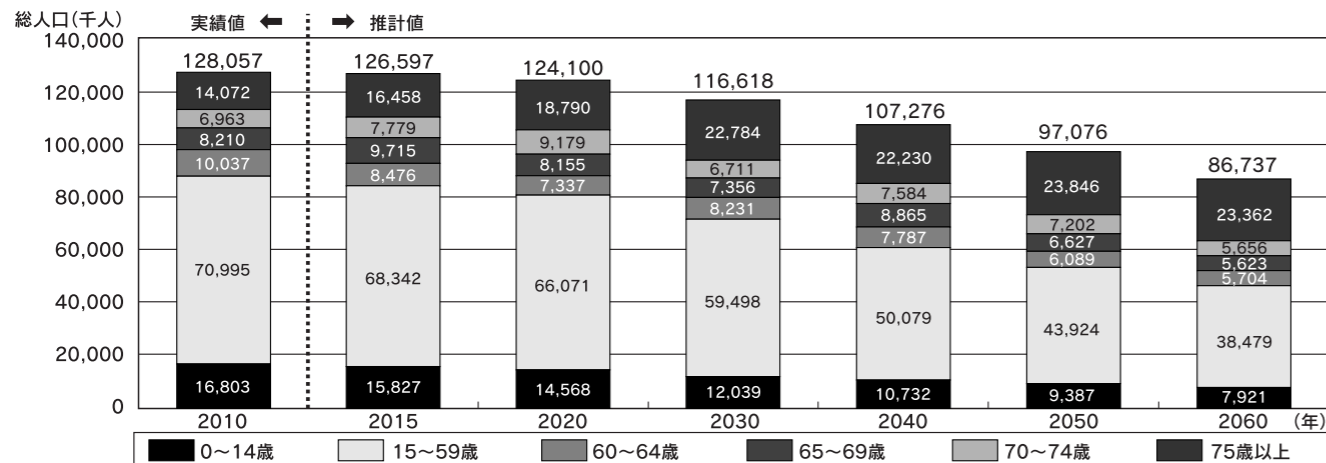
人口動態が変化すると、当然ながらあらゆる需要も供給も並行して変化するため、医療や福祉だけでなく経済や雇用状況にも大きな影響が及びます。地域包括ケアシステムとは、人口動態の変化に応じるための医療・福祉体制の再構築とも言えるでしょう。では、日本の人口がどのように変化していくのか説明致します。

現在、日本の人口は、約1億2千万人ですが、100年前は約5千万人でした。今、日本は少子化社会の影響により人口減少が進んでおり、100年後には、約5千万人に逆戻りすると予想されています。日本の歴史上において、現在(正確には2008年)が最も人口が多い時期として語り継がれるでしょう。日本は、衛生環境の改善や医療の発展等により平均寿命は延び続け世界1位の長寿国として他国からも高評価を受けております。戦後の社会保障制度の整備による成果であり、中でも国民皆保険制度は「誰でも・いつでも・どこでも」医療が受けられる安心感を提供し続けております。では、寿命が延び続けているのに何故、人口は減少していくのでしょうか。答えは単純で、合計特殊出生率の低下です。合計特殊出生率とは女性が生涯で子供を産む人数ですが、よほど外国から日本へ住み替えする方がいない限り、一般的には夫婦2人で子供が2人に満たなければ人口は減少していきます。合計特殊出生率は、1975年を境に、2.0を切り、40年前から人口減少の道を行ってきた事になります。40年前からじりじりと進行した問題は、数年でどうにかなるものではありません。傷口を広げないために少子化・子育て支援対策を実施しながら、日本は、減少していく人口動態と向き合った社会に転換しなければなりません。

人口動態の変化において全世代が平均的に減少していただければ、需要の量だけの課題になりますが、世代の割合も変われば、需要は複雑化されます。日本は、75歳以上の人口は、今後40年以上増加し続けて、他の世代が減少していくため、多くの高齢者を減少していく人達で支えていける社会に変えていかなければなりません。また、人口が減少していくという事は、人間の宿命でもある死を迎える数も増加する事になりますので、日本は少産多死時代を迎える事になります。「介護等で周りに迷惑をかけたくない」と誰もが思う事ですが、死の前には病気があり、病気と共に介護が必要な時期というのは残念ながら大半の方が該当します。平均寿命と健康でいられる年齢の差は、2010年に厚労省が調査し、男性が約9年・女性が約12年となっており介護や生活支援が必要な平均期間は約10年に及びます。

すでに現実化された少子化・高齢化・人口減少問題という事実を受け入れ、高齢になっても安心して生活し続けられる社会に転換していく事が地域包括ケアシステムです。年齢を重ねる事自体が社会的問題にならないよう、すべての人の尊厳が守られ、明るい未来を作っていくために皆で知恵を絞り合い、これからの社会に必要な事を考えて、行動に移していく事が求められています。

年齢区分別将来人口推計



資料: 2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
(注)2010年の総数は年齢不詳を含む。

さくらまつり

いち早く春の訪れを感じて頂けるよう、毎年恒例となっております、「さくらまつり」を4月28日(火)~5月8日の日程で行いました。

総合受付や各病棟、喫茶室、和室等桜の生木や造花を飾りました。花々を見て患者様、ご家族様から「きれいだね」とのお声を頂くことができました。撤収作業中には、「もう終わりなの」とのお声も頂き、「さくらまつり」を楽しんで頂いた印象です。また、同時に6階和室、7階サンルームには、五月人形を飾らせて頂き、「端午の節句」を行いました。今年からは、サンルームにもご家族様からの寄付によって、五月人形を飾りました。多くの方々にご足を止めて頂くことができました。



端午の節句



【患者家族交流会】

平成27年4月26日に患者家族交流会を開催し、130名のご家族様にご参加頂きました。

今年度の介護報酬改定に基づき、地域連携推進室の大植副室長から「地域包括ケアシステムについて」、経営管理部の明円部長から「2015年度介護報酬改定の概要と当院への影響」、浦院長から「これからの札幌西円山病院の歩む道」と題した講演を行いました。

意見交換会では、今後の介護病棟や職員の対応についてなど貴重なご意見やご質問を頂きました。ご家族休憩室に内容を要約した議事録を置かせて頂きますので、どうぞご覧下さい。



銀の舟 ボランティアグループ銀の舟 総会

5月22日(金)に当院のボランティアグループである「銀の舟」の総会を開催致しました。

昨年の事業報告に合わせ、今年度の事業計画として「認知症サポーター養成講座」の開催を今年度の事業計画として報告致しました。銀の舟は今年で創設30周年を迎え、今後の更なる発展に向け、皆さまと共に作り上げていくボランティア活動を考える有意義な機会となりました。

また、総会後には「がん患者とのコミュニケーション」をテーマに手稲溪仁会病院がん相談支援センターの川守田徹さんから講演をして頂きました。がん患者さまと接する際は、患者さまの心に寄り添った活動をする事、患者さまと同じ時間を共有させて頂いてることに感謝する必要があるという事を学ぶことができた研修会となりました。



ボランティアグループ銀の舟では、新しい仲間を募集しております。ボランティア活動にご興味のある方は、ぜひお気軽にボランティア事務局までお問い合わせ下さい！
ボランティアグループ「銀の舟」事務局
TEL 011-644-1380【担当:上西(じょうにし)】